

# ドル LIBOR デリバティブのプライシング ・ 評価のベストプラクティス

2022 年 6 月 6 日 (月)、ZOOM オンライン講座

## OTC クオンツスクール

キーワード : ISDA LIBOR Fallback, Index Cessation Effective Date, Clearing House, Cleared Trades, Uncleared Bilateral Trades, LIBOR Projection Curve, Curve Stripping, Backward-Looking Volatility, Forward-Looking Volatility, SABR Model

ISDA 非清算トレードのドル LIBOR から SOFR へのフォールバック・ルールやクリアリングハウスでの清算ドル LIBOR トレードから SOFR スワップへの変換プランはすでに明らかになっている。

現在の LIBOR からの移行の過渡期において、Index Cessation Effective Date である 2023 年 7 月 1 日以降にドル LIBOR の Fixing を迎えるトレードのキャッシュフローについては、清算トレードであっても ISDA のフォワード LIBOR フォールバックレートを使って評価する慣行が一般的のようだ。1 本のドル LIBOR カーブで Index cessation date を無視したフォワード LIBOR を計算すると、Index cessation date 付近のフォワード LIBOR を滑らかにしてしまうため、Real LIBOR 部分のカーブとフォールバック部分のカーブの両方をゆがめてしまい、Index cessation date がカーブ構築のスワップや LIBOR 先物で参照される LIBOR Fixing Date を通過することにトレード評価額が振動し、適切なリスク管理ができなくなる。このため、ドル LIBOR カーブを Real LIBOR 部分とフォールバック部分に分けて、決して 2 つのカーブを結合しないようにカーブをつくる必要があるとなる。

今回のセミナーでは、Real LIBOR カーブとフォールバック LIBOR カーブの構築方法を紹介し、ドル LIBOR を参照する Swap, Caplet/Floorlet, Swaption の適切な評価方法のベストプラクティスを紹介する。この方法の付随的なメリットとして、ドル LIBOR 公表停止後も ISDA 非清算トレードのブックングを変える必要がないことであり、ブックング変更のシステム開発コストがセーブできる。

## セミナー対象者

- ・ 金融機関に勤務するクオンツ、トレーダー
- ・ 金融機関のデリバティブ、ALM、リスク管理等の関係部署の方

- ・ デリバティブ業務等の監査に携わる方、金融商品の評価業務に携わる方
- ・ デリバティブ、金融リスク関係のシステム構築に携わる方
- ・ 微分積分の計算に抵抗のない方

## 講義日程

日程： 2022年6月6日（月）

時間： 18:00 – 21:00

会場： Zoom によるオンライン

定員： 25 名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

## 担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Analytics 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部、さくら銀行 商品開発部、コムルツ証券会社 債券部トレーディングデスク で金利、為替レート、株式、クレジットのクオンツを務める。ヘアースターンズ・ジャパン 債券部 で金利・為替エキゾチック・トレーダー、RBC(Royal Bank of Canada) キャピタルマーケット・ジャパン デリバティブ・トレーディングデスクでヘッドトレーダーを経て、現在、株式会社 Diva Analytics にてデリバティブ、XVA、規制資本のモデル及び LIBOR から RFR への移行に関するシステム開発とコンサルティングに従事する。東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を務め、デリバティブモデルの C++でのプログラミングに関する授業を担当。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理学科研究科 後期博士課程単位取得退学。

## 受講料

60,000円（税抜）

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。

## お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <https://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

## 講義内容

- |   |   |
|---|---|
| ・ ISDA の LIBOR フォールバックのルール  | ・ 変換補償がある場合のデリバティブの評価（例えば、清算 LIBOR スワップやスワップション）                  |
| ・ LIBOR スワップレートのフォールバック   | ・ 変換補償がない場合のデリバティブの評価（例えば、LIBOR 通貨スワップ、LIBOR Cap/Floor 等の非清算トレード） |
| ・ 清算 LIBOR スワップの RFR スワップへの変換ルール  | ・ LIBOR デリバティブから RFR デリバティブへのブックング変更について                          |
| ・ Cleared Physical Settlement の LIBOR スワップションの権利行使時の LIBOR スワップから RFR スワップへの変換ルール | ・ フォールバック・アービトラージ戦略   |
| ・ Real LIBOR カーブのみの構築   |   |
| ・ フォワード LIBOR フォールバックレートの計算   |   |

(注) 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。